

RI 第2820地区

# 水海道ロータリークラブ



華鬘草 (けまんそう)



弘経寺にて撮影

撮影者: 倉持孝幸氏 常総市羽生町在住

夢をかたちに  
2008-09年度 RI会長  
李 東建

2008-09年度 会長テーマ

確かな絆で未来へ

VOL. 46 No.32 (通算No.2193)

4月 1日 (水)

2008 2009年度 会長 秋田 政夫 幹事 染谷 正美

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30

0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

# THE WEEKLY REPORT

## 2009年4月1日(水)例会プログラム

点鐘  
君が代・ロータリーソング  
ビジター紹介  
出席報告  
SAA報告  
諸報告  
幹事報告  
会長挨拶  
識字率向上DVD観賞



## 表紙 花の説明

- 罌粟(芥子:けし)科。
- 学名 *Dicentra spectabilis*  
*Dicentra* : コマクサ属  
*spectabilis* : 壮観の、美しい
- 中国原産。鑑賞用。
- 春、華鬘(けまん、仏前に飾る花輪のこと)に似た、赤い花がずらりと片側に並んで咲く。白いのものもある。
- 別名「罌鈞草」(たいつりそう)。  
罌鈞の形に似ているから。  
(ピンクの色までそっくり!)

例会報告 Vol.46 No.31 (No.2192) 3月25日(水)雨 (司会 北村英明委員長)

### 本例会での主な事項

会長挨拶 秋田政夫会長

会員卓話

古矢 満会員

## 幹事報告 (染谷正美幹事)

週報受理クラブ なし

例会変更クラブ なし

## PETS(会長エレクト研修セミナー)報告 田上秀雄会長エレクト



去る3月14、15の両日土浦において、PETSが開催されました。ご承知の通りPETSとは、次年度クラブ会長を務めるロータリアンの研修の場です。土浦南ロータリークラブより選出の内藤 彰ガバナーエレクトの下、ホテルマロウドにおいて当クラブからの北村 仁PGにもご参加を頂き、まさに研修漬けの2日間でありました。PETSを境と致しまして、会長としての自覚が出でまいるとつねづね言われておりますが、中々飲み込みが悪いせいか未だはっきりとした自覚がございません。いささか不安を感じているところであります。多岐にわたる研修でありその整理に四苦八苦というところでもあります。しかしながら唯一しっかりと理解できましたことは、会員皆さんの協力なくしては、会長の職務を果たすことは不可能であるということでもあります。4月に入って月末には地区協議会が行われ、各委員長さんがたの研修が行われるわけですが、それまでには幹事ともども勉強をいたしまして次年度における会長方針、テーマといったものを決めさせていただきたいと思っております。宜しくお力添えの程宜しくお願い致します。

それではこれより皆様にお配りした資料に従ってPETSの内容のご説明をかいつまんでさせていただきます。

# THE WEEKLY REPORT

RIテーマ 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」

強調事項 「水」「保健と飢餓救済」「識字率向上」

地区方針

- 1 ・職業分類の原則を守り、職業倫理向上のロータリーの原点を大切にしよう。  
・多様性は力。異なった経歴、職業の会員を増やそう。  
・次世代を担う若い会員を増やそう。
  - 2 例会プログラムを充実させ、魅力あるクラブを作ろう。
  - 3 IM 開催によりロータリーの研究と、親睦の和をクラブから分区分、地区へと広げよう。
  - 4 未来のために、今日出来る奉仕をしよう；きれいな水、CO<sub>2</sub>の削減。
  - 5 次世代を担う子供達に「思いやりの心」を育て、国際交流を通して、それを世界に広げよう。
  - 6 世界社会奉仕（WCS）事業を継続推進しよう。
  - 7 ポリオ撲滅に挑戦しよう。
  - 8 RI 会長賞に挑戦しよう。
  - 9 RI 第 5610 地区（南ダコタ USA）との GSE を成功させよう。
  - 10 モントリオール年次大会に参加しよう。
  - 11 ロータリーの公共イメージを向上させよう。
- 数値目標
- 1 現会員の維持と各クラブ 1 名の会員純増
  - 2 ロータリー財団年次寄付を 1 人 110 ドルで 3 年継続
  - 3 ポリオプラス支援を 1 人 50 ドルで 3 年継続
  - 4 1 クラブ 1 人のベネファクター
  - 5 米山奨学会へ 1 人 2 万円の寄付の継続

ロータリー財団年次寄付とポリオプラス支援寄付の変遷表

	数字は 1 人当たり/単位ドル			
	廣瀬年度	内藤年度	2010-11年度	2011-12年度
ロータリー財団年次寄付	150	110	110	110
廣瀬年度ポリオプラス支援	30	30	30	50
内藤年度ポリオプラス支援		20	20	50
合 計	180	160	160	160

ポリオプラス支援は、各年度の寄付総額は変えずに廣瀬年度計画より 1 年延長することになります。

次に、会長の心得10か条というのも教えて頂きました。どうも違っているなど、皆様お気づきの点があれば遠慮なくご指摘頂ければ、私の出来る範囲で修正していきますので、皆様のご指導宜しくお願い致します。今後の予定をお知らせ致します。

4月26日(日)・・・地区協議会 つくば国際大学

8月1日(土)・・・職業奉仕研究会 水戸三の丸ホテル、松村委員長ご参加宜しく申し上げます。

8月5日(水)・・・公式訪問 公式訪問資料作成等のご協力よろしくお願い致します。

次年度、一年間ご協力の程宜しくお願い致します。

## 会長挨拶 秋田政夫会長



東京では既に桜の開花が宣言されています。茨城百景の一つにもなっています小貝川、福岡堰の「さくら祭り」がつくばみらい市観光協会主催により 4 月1日から8日まで昨年同様に開催されます。エクスプレス効果によりいっそうの賑わいを見せてくれるものと思います。

さて、今月はロータリーの識字率月間です。

識字率とは、初等教育を終えた年齢、一般的には15歳以上の人口に対して母国語における読み書きができることの割合を定義としています。

全世界の識字率は70%であり、先進国は95%以上で日本は99.8%を示しています。アジア地域ではアフガン(36.3%)、バングラ(40.8%)ネパ

ール(41.4%)、インド(41.4%)パキスタン(43.3%)と50%以下となっています。中国は85%を示しています。アフリカではナイジェリア(66.8%)ニジール(17%)、北アメリカでは合衆国が(99.7%)キューバ(97%)ドミニカ(84%)で、南アメリカではブラジル(86.4%)、ペルー(85.5%)となっています。

日本の識字率の高さは江戸時代の寺子屋の普及から始まりました。当時江戸幕府はキリシタン禁制を徹底する対策として寺請制度を確立しました。現在の市町村役場の住民課のような役割で、お寺の住職は本来の

## THE WEEKLY REPORT

仏事とはまったく無縁の仕事を与えられ、その見返りとして衣食住の全てから寺の改修まで「檀家」に寄付をしてもらう特権が与えられました。幕府はすべての住民を檀家として檀那寺、すなわち菩提寺に世襲的に帰属させたのです。そして、寺子屋として同時に町民や農民に対する教育者としての役割を果たしました。一方、江戸幕府は幕府を開いて以来、通貨制度と経済の発展に伴い「読み書きそろばん」の必要性が生じ、当時、丁稚奉公や女中奉公においても「読み書きそろばん」が必要不可欠となりました。そのために、教育熱が高まり、寺子屋教育が盛んになりました。そして、やがて武士、浪人が自宅に塾を開設し、寺子屋教育の役目を果たすようになりましたが、経営的には成り立たず、貧しい生活を余儀なくされたそうです。近江(滋賀県)の中江藤樹は向学心に燃える門弟のために琵琶湖西岸において教育をされたが、生計は月謝ではまかないきれず、米や酒の小商いや金融業によって補っていたそうです。萩の吉田松陰の松下村塾は当時、上級武士の藩校には上げられない下級武士の子弟を中心に3年間の教育機関でしたが、明治維新の原動力となった「伊藤博文、高杉晋作、山形有朋」などを輩出しました。このように寺子屋教育の開設は江戸から明治初期にかけてその数、約1550箇所のだと言われています。また、大衆への文学の普及により、知識の習得意欲が高まり、江戸の出版、印刷業者の繁栄につながり、1804年から1815年には江戸の貸し本屋数が656軒在ったそうです。また、農村にまで寺子屋が浸透し、読み書きそろばんを習得したために農民は村役人の不正を見破り、そのための騒動がひんぱんに起こったと言われています。このように農民にまで広く識字率が向上したため当時徴収米の換金にだけ頼る武士社会は時代と共に貧しくなり、経済力を増した商人の力が強まってきました。そのために、下級武士は日常活躍の場、機会を失うことになり幕末の混乱は下級武士が活躍を求めた明治維新であったとも言われています。ちなみに幕末期の識字率は男性79%、女性21%、武士は100%、農村の僻地でも20%だったそうです。改めて教育のたいせつさを認識しました。

### 会 員 卓 話 古矢 満会員



昨年の今時期に入会させていただき、約一年が過ぎ初めて卓話をさせていただきます。初めての卓話なので、改めて自己紹介をさせていただきます。

まず、家族の構成ですが、父・母・妻・子供が3人と私で7人家族です。又、この水海道ロータリーでは母方の祖父である長岡健一郎が、その当時に、皆様に御世話になっておりましたご縁もございます。

さて仕事ですが、現在 (株)フルヤ建商とフルヤコンクリート工業(株)と2つの会社を営んでおります。まずフルヤコンクリート工業(株)ですが、父方の祖父が、昭和初期より鬼怒川の川砂採取事業とした「古矢砂利店」

を

前身会社としております。昭和34年にコンクリート販売の為にフルヤコンクリート工業(株)を設立し、本年50年目の節目の年を迎えることが出来ました。祖父から父へ、そして自分へと3代にわたり事業を続けてこられたのも、多くの皆様のおかげ、そして祖父・父の苦勞のおかげだと感謝しております。

又、ロータリーの方に登録させて頂いております(株)フルヤ建商ですが、昭和58年に先程お話しした、フルヤコンクリート工業(株)の自社プラントに砂利・砂を納入すべく、立ち上げた会社です。

その会社設立時に父から「今度、別会社を作るから会社名何がいいべな？」と相談を受けたのを、今回この卓話を期に思い出しました。この当時自分はまだ16・17の小僧で、この時期は生意気でしたので、その時には感じなかったのですが、今になると父が跡継ぎとして色々と考えてくれたのかなぁ？と今更父に聞くわけ行かないので勝手に思いました。自分も現在16歳の子を持つ親として、大変うれしく思うと共に、身が引き締まりました。

さて仕事の内容ですが、現在は産業廃棄物処理業と建設工事業、主に解体の仕事をメインにしております。私自身18歳のときから東京に行き、25歳に結婚を機に帰ってくる期間、現場関係の仕事に就きました。7年間東京で丁稚奉公をしてきたのですが、ちょうど昭和60年のバブル絶好の時でした。あの当時人手が足りなかったのか、入社後すぐに現場をまかせられ、現場を切盛りさせてもらいながらも、ろくすっぽ分からないくせに知ったかぶりして、親父以上の歳の人などと喧嘩したり、汚い作業服で渋谷や、銀座にのみに連れてって

## THE WEEKLY REPORT

らったりといい思いや、嫌な事など色々経験させていただきました。

特に思い出にあるのは、毎朝、東京都台東区にある通称「山谷」まで作業員を迎えに行き現場仕事をしてきた事です。現在では大分人が減りましたが、あの当時は活気にあふれていました。あまり大きな声では言えませんが、仕事帰りは麻雀して酒飲んで、雨が振ったら朝から麻雀して酒飲んで・・・特に土日は競馬がありましたので、月曜日の朝がドキドキしていたことを思い出します。ちょっと大勝したらすぐに仕事を休むのです。そんな中、田舎に帰れない人や、事情を抱えている人達でしたので、二十歳そここの自分には色々刺激がありました。でも逆を言えば人間味あふれる人達とのふれ合いがあったからこそ、思い出に残っていますし、その時期の経験が自分の少ない肥やしになっていると思います。

さてそんなこんな経験を経て、実家に戻ってきましたが、中妻駅周辺は第一種住宅地域に指定され、生コンプラントの立替許可がでずにつくば市の方で当時の秩父生コンという会社と合併プラントをはじめました。

そこで、父と相談しながら新規産業として、今度は、今まで納めさせてもらったコンクリートの廃材の処理をしようと、現場関係の廃材をメインにして、現在の産業廃棄物の処理業をはじめました。

又、自分的にはどうしても現場仕事がやりたいので、工事業の許可を取り、工事の仕事も始めました。廃材処理の仕事に関連しているのもそうですが、小さい時より物を作るより、壊すのが得意だったのもあり、解体工事という仕事をはじめました。そしておかげさまで現在に至っております。

さてそこで、産業廃棄物の仕事をしていて感じる、最近話題の環境問題について少し堅い話ですがお話をさせていただきます。

日本は、つい40年前までは環境に関しての規制が、し尿以外ほとんど無かったので、排水は垂れ流し、ゴミは埋め放題、つい最近まで燃やし放題でした。そして皆さんご存知の「イタイタイ病や水俣病」などから公害の規制が始まりました。経済成長真っ只中という時代背景もありますが、大量生産大量消費という日本経済の構図は、現在においてもまだ続いていると思います。

そこでつい最近になっては京都議定書での温暖化防止や、エコという名称による環境活動が盛んになっております。

そんな中、テレビ報道の行き過ぎだなど感じる点や、国の環境政策についての甘さや、リサイクル現場での生の声を踏まえて何点かお話ししたいと思います。

まずはリサイクルについてですが、

**レジ袋** これは元々石油精製時にできる BTX 成分という精製後の最後のカスだそうです。皆さんも昔にご覧になったと思いますが、石油コンビナートの煙突から火が出ていたのを見たことがあると思います。

レジ袋はそんなカスである触媒技術を生かして再生したりリサイクル商品です。最近マイバックでお買い物という風潮ですが、仮にマイバックが汚れたり、新しいものがほしいという感覚で、一年に一度買い換えていたらそちらの方が石油を使うことになるそうです。もしレジ袋がなくなったら、いまのところそのカスはまた燃やされることになるそうです。

**ペットボトル** 軽くて便利だという事で、ジュースなどの飲み物ほとんどに使われています。

こちらは一度ペレットというプラスチックの粒にしてから、洋服に再利用したり、プラスチックのリサイクル品として代用されております。しかし現在の世界情勢の下、中国への輸出がほとんど止まってしまい流通せずあふれております。その結果有償で流通していたのが、焼却されるという事態になっており、現在、金がかかるという事で、自治体によっては野積みそのままになっていたり、燃えるゴミに入れるというところも出てきています。

**割り箸** 当初カナダやアラスカで伐採した枝などの間伐材を焼却していた物を、日本の商社が輸入してリサイクルとして割り箸を作ったそうです。しかし需要が増えすぎて割り箸を作るために伐採をするという事態になってしまいました。結果、当初は立派なリサイクル品が環境に良くない物として、エコ活動などでマイ箸推進などという逆の悪い立場の商品になってしまったのです。

以上の点からもリサイクルが経済活動に直結しているのが分かると思います。

又、環境についての報道の行き過ぎについて感じる点としましては、

**ダイオキシン** 一時期テレビや新聞で大騒ぎしたのをみなさん覚えていらっしゃると思います。

しかし現在はほとんど話題にもなりません。環境ホルモンによる影響として猛毒だとしていたのが、因果関係が無いとなったらピタッと報道が止まりました。名前が毒々しいからなのからか知りませんが、タバコからも焼き鳥を焼いている炭からもダイオキシンは出ております。何でもかんでも燃やすのは別といたしまして、昔か

# THE WEEKLY REPORT

ら火を使い生活していた人間にはそれほど影響は無いそうです。

**家電リサイクル** テレビや冷蔵庫など一律数千円の料金を支払い、リサイクルをするというのですが、業界の仲間で処理をしている人から聞きましたところ、メーカーからすべてリサイクルに回っているわけではなく、中古品として海外にかなりの量が出回っているそうです。それはそれでリサイクルなのですが、料金を支払っている消費者からすれば疑問が生じます。そしてここに来て地デジ対応としてテレビを買い替えなどと、まるで時代に逆行している感じがしてなりません。

**バイオ燃料** これは大豆やとうもろこしなどから作る燃料ですが、アメリカがほとんどです。

食糧危機で飢えている国もあるのにと、皆さん感じるでしょう。私も感じます。しかし実際のところは、遺伝子操作の作物を、日本を始めヨーロッパなどで、食の安全という観点から輸入を控え始め、売れないなら燃やしてしまうというアメリカの政策だそうです。京都議定書を批判しているアメリカが突然エコなどと目覚めるはずがありません。オバマさんはわかりませんが・・・

**地球温暖化** これは地球規模の大きな話になりますが、私も何が悪いのかははっきり言って分かりません。異常気象や海面上昇など危険だなどと言っていますが、実際には専門家も判らない事が多いそうです。

長い地球の歴史の中ではもっともっと温かい時期もあったらしいですし、極寒のシベリアやアラスカなどで作物が作れていいとかという意見もあります。そもそも植物は二酸化炭素を吸って生きていますから、植物からしてみればいい時代じゃないかなと思います。地球環境についてなどと騒いでいても、地球自体は長い年月の間に、大きな隕石がぶつかったり、火山活動でドロドロになったり、赤道まで凍りつく時代があってもしっかりと生きています。

環境問題は結局のところ人間の問題だと思います。国によっては食べるものがなくて餓死している国もあれば、年間何億万トンと食べ物を捨てている国もあります。便利さや儲かるものが優先されているのは、決して良くなるはずが無いと思います。先ほども申しましたが、経済と環境問題は直結しており、国によつての価値観も違いなかなか難しいと思います。

色々環境問題について偉そうな事をお話させていただきましたが、結局のところは、エコ活動などと聞こえがいいですが、結局人間のエゴから来ているということをしっかりと認識して、本当に何が大切なのかどうするべきかを見極めて、行動し、子どもたちに伝えて行けたらいいなと思います。

以上まとまらない話でしたが卓話とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

## 出席報告 (青木清人委員)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
50名	33名	17名	0名	17名	100.00%

## ニコニコボックス(横山 修SAA)

入金計 ¥18,000 累計 ¥1,647,000

古矢会員、卓話宜しく願います。 染谷(正)会員

古矢会員、卓話ご苦労様です。 田上会員

古矢会員、卓話楽しみです。頑張って下さい。 倉持会員

本日も古矢 満会員、卓話ご苦労様です。 横山会員

本日は卓話宜しく願います。初めての経験でドキドキしています。 古矢会員

昨日、龍ヶ崎中央ロータリークラブ、ゴルフコンペに参加しました。結果栄えあるBMでした。 鈴木(豊)会員

本日、所用により早退させていただきます。 上野会員

例会欠席しました。 松崎・大串 各会員



会報委員会 青木正弘委員長 上野 博副委員長